## 教育計画表

QS-60-01-00

※教育後に妥当性評価結果を記入すること。レベル値への網掛け部は資格認定該当者とする。 尚、レベルは具体的な業務内容と教育訓練テーマに対しての達成度を「5:指導可能/4:単独作業可能/3:監視下にて作業可能/2:訓練中(後期)/1:訓練中(前期)/0:出来ない」の5段階で記入すること。													
部署名	科学機器開発部	計画年度	2014 年度	作 成 日	2014年 3月 31日	改 訂							
		•				_						·	

作 業 名 具体的な業務内容 (必要な技能・資格)				教育対象者名/レベル																								
			レベル		В	С	D	E	F	J	н	I	J	$\bigvee$	$\bigvee$	$\bigvee$	$\bigvee$	教 育・訓練内容 (具体的に)	スケジュール/月						月			妥当性評価
大 分 類	中分類													/\	$\bigvee$	$\bigvee \setminus$	V		2 3	3 4	5	6	7 8	9 10	0 11	12 1	1	
開発業務	【市場調査】 学術的知識の 向上と活用	学術的知識の向上をユーザー 様現場から習得(折衝・協調)	目標現状結果	5 5	5 5			4	5 5	4 4	3	5 <b>4</b>	3 2		$\stackrel{\sim}{\times}$	$\bigotimes$	$\supset$	(社外OJT) 客先訪問〜ユーザーとの対話によって 学術的知識を習得する	<b>▼</b> ·····									※取附社員は前年どまで営業であったため、現場にて 十分経験を積んでいるものと判断
		ユーザーニーズを掴む (洞察力)	目標現状結果	5 5	5 5		3	3	5 5	4 4	3	5 4	3 2	XX	$\stackrel{\times}{\times}$	$\bigotimes$	$\stackrel{\times}{\times}$	(社外OJT) 客先訪問〜ユーザーの求める項目を 的確にキャッチしまとめる	<b>▼</b>								<b>.►</b> }	※同上
		競合他社の動向、人気機種の 把握	目 標 現 状 結 果	5 4	5 4			3 2	5 4	4 3	4 3	5 4	3 2	$\times$	$\stackrel{\times}{\times}$	$\bigotimes$	$\stackrel{\times}{\times}$	(社外OJT) 客先訪問~同種の他社製品情報を現 場の立場で把握する(展示会含む)	<b>▼</b> ······								<b>.►</b>	※同上
	【商品知識】 シーズとニーズ の調整	開発マインドの機器仕様への 投入(開発能力)	目 標 現 状 結 果	5 5	5 4		5 4	4	5 5	5 4	4	4 3	3 2	$\otimes$	$\gtrsim$	$\bigotimes$	$\bigotimes$	(開発OJT) 使い勝手を主軸にアピールポイントを 「設計仕様」へ盛り込む	<b>4</b>		-						•	
		基本試作製作による主仕様の 確認(構想の具現化)	目 標 現 状 結 果	5 5	5 5		5 4	3	5 5	4 3	4	3 0	3	XX	$\stackrel{\times}{\times}$	$\bigotimes$	$\mathbb{Z}$	(開発OJT) コア技術等を駆使し基本試作製作、試験 から検証する(各テーマで設定)	<b>▼</b>								٨	
		インプット・アウトプットのまとめ (シーズ・ニーズ調整力)	目標 現状 結果	5 5	5 5		5 4	3	5 5	4 4	4	4 3	3	$\times$	$\stackrel{\times}{\sim}$	$\bigotimes$	$\stackrel{\times}{\times}$	(開発OJT) 上記活動からインプットされた情報を具現 化できうる(OP.)として企画に反映する	■								٨	
	設計計画	設計計画立案 (設計技術員)	目標現状結果	5 5	5 5		5 4	4	5 5	5 5	3 2	3 0	3	X	$\gtrsim$	$\bigotimes$		(設計OJT) 構想仕様・設計・試作検証・妥当性確認 などの日程計画立案	◀								•	
	-n   4-4-4r-	筐体・構造的要素に関する設計 (品質・コスト/設計技術員)	目標現状結果	5 5	4			3 2	4	5 5	3 2	3 0	3 2	$\times$	$\stackrel{\times}{\sim}$	$\bigotimes$	$\times$	(設計OJT)(社外セミナー) 仕様実現目指し、品質・コストを両立させる 機械設計技能の習得	<b>▼</b> ······								•	
		電気的要素に関する設計 (品質・コスト/設計技術員)	目標現状結果	4	5 5			3	5 5	4	3 2	1 0	3 2		$\gtrsim$	$\bigotimes$	$\stackrel{\times}{\times}$	(設計OJT)(社外セミナー) 仕様実現目指し、品質・コストを両立させる 電気設計技能の習得	<b>4</b>									無鉛はんだ講習】4/3~4 岡本、中野、石坂、加茂、取附
		温調機構の設計 (散熱・熱量計算/設計技術員)	目標現状結果	5 5	5 4			3	5 5	4	4 3	1 0	1	$\times$	$\stackrel{\times}{\sim}$	$\bigotimes$		(設計OJT) コア技術の拡充を視野に入れ、品質・コストも両立させる(既)技術応用技能の習得	<b>4</b>								•	
設計業務	設計技術	振とう機構の設計 (強度・伝達計算/設計技術員)	目 標 現 状 結 果	5 4	5 4	5 4		2 2	4 4	4 4	4 3	2 0	1	X			X	(設計OJT) コア技術の拡充を視野に入れ、品質・コストも両立させる(既)技術応用技能の習得	<b>4</b>								•	
		冷凍機の原理(能力計算・機種 選定・回路設計/設計技術員)	目 標 現 状 結 果		4 2			3 2	4 4	4 4	4 3	3 0	3 2				$\gg$	(設計OJT)(社外セミナー) コア技術の拡充を視野に入れ、品質・コストも両立させる(既)技術応用技能の習得	<b>4</b>								·► [	取附社員は前年どまで営業であったため、現場にて一分経験を積んでいるものと判断司上司上司上司上 3~4本、中野、石坂、加茂、取附 20AD講習】 3~4本、中野、石坂、加茂、取附 20AD講習】 4、取附 20AD講習】 4、取附 20AD講習】 4、取附 30AD講習】 50AD講習】 60AD講習】 60AD講習】 7点機講習】 60AD 表現機講習】 60AD 表現機可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能可能
		ペルチェ原理(能力計算・機種 選定・廃熱経路/設計技術員)	目標現状結果	5 4	5 4	5 4	0	2 0	5 5	4 3	3 2	3 0	0	$\times$	$\stackrel{\times}{\sim}$	$\bigotimes$		(設計OJT) コア技術の拡充を視野に入れ、品質・コストも両立させる(既)技術応用技能の習得	<b>4</b>								•	
	設計出力	品質計画書類作成(図面·資材表·品質文章類/設計技術員)	目標 現状 結果	5 5	5 4			3 2	5 5	5 4	4 4	3 0	0	X			$\bigotimes$	(設計OJT)(社外セミナー) 各テーマに応じた品質図書類の作成から 品質技術の向上	<b>4</b>								.▶	
	(生産図書)	製図(CAD) (トレースは必要資格なし)	目 標 現 状 結 果	5 5	5 5			3 2	5 5	5 5	4	3 0	1	X		$\bigotimes$	$\Rightarrow$	(設計OJT) 各テーマの設計図面「製図」作業から トレース技術の向上	•								· <b>&gt;</b> [	3DCAD講習】 冨岡、板橋 5/12~14、5/23
品質管理 業務	内部監査	ISO規格理解 (内部監査員)	目標現状結果	5 5	5 4		3 2	3 2	5	4 4	4 3	3 0	3 2	X	X	$\bigotimes$	$\Rightarrow$	(社内OJT)(社外セミナー) 内部監査を通じ、品質マネージメント システムの相互理解	<b>4</b>							)		品質管理セミナー】(設計資格取得のため) 収附
その他	文章・グラフ 作成	EXCEL・WORDの使いこなし	目標現状結果	5 5	5 5		5 4	5 5	5 5	5 4	5 4	5 5	5 4	X	$\gtrsim$	$\bigotimes$	$\bigotimes$	(社内OJT) PC、文章作成スキルの向上	<b>-</b>								· <b>►</b> [	職長教育】
個人総合スキル				84 80 0	74	74			81		63 50 0			X		$\bigotimes$	$\bigotimes$											